

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	森永乳業株式会社					
代表者名	氏名	大貫 陽一	役職名	社長		
主たる事務所の所在地	東京都港区芝5-33-1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	乳製品の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1,688	1,637	1,455	1,542	1,540
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,199	3,103	2,757	2,922	2,909
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	1		1	1	1
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	0				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

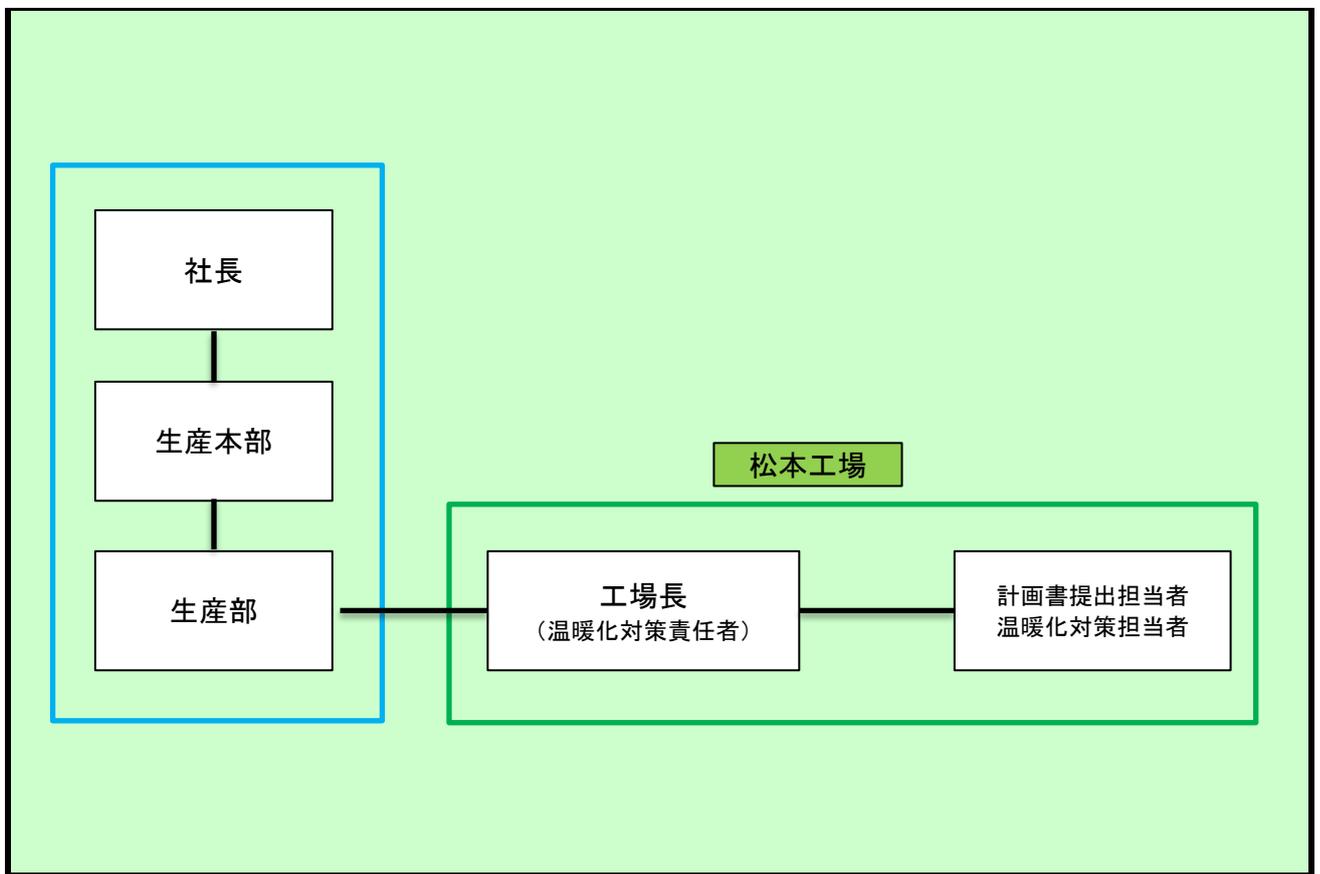
<input type="checkbox"/>	ホームページ	工場受付にて閲覧可能 8:30～16:45 担当部署 松本工場 製造課 工務職場 連絡先 0263-26-0330
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギーの使用の合理化を適切かつ有効に実施し温室効果ガスの削減に努めます。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

会議名 「原価低減会議」
コストエッジ (CE) エネルギー削減目標・計画決定、進捗確認
頻度 1回/月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,199	t-CO ₂	生産数量	914.30	単位	t
2019年度	調整後排出量	3,199	t-CO ₂	基準原単位	3.50	t-CO ₂ /	t
目標年度	目標排出量	3,103	t-CO ₂	目標原単位	3.40	t-CO ₂ /	t
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	ISO14001の環境目標がCO ₂ 排出量 年1%削減であるため、3年で3%削減を目標といたしました。						
第一年度	排出量	2,757	t-CO ₂	生産数量	754.60	単位	t
	削減率	13.81	%	原単位	3.65	t-CO ₂ /	t
2020年度	調整後排出量	2,757	t-CO ₂	原単位削減率	-4.29	%	
	削減率	13.81	%				
排出量等の増減理由	生産数量が約17%減となったため、排出量は減りましたがユーティリティなど生産数量に比例しないエネルギー消費の比率が大きくなり原単位が増加しました。						
第二年度	排出量	2,922	t-CO ₂	生産数量	845.70	単位	t
	削減率	8.65	%	原単位	3.46	t-CO ₂ /	t
2021年度	調整後排出量	2,922	t-CO ₂	原単位削減率	1.14	%	
	削減率	8.65	%				
排出量等の増減理由	製造量が減少したためCO ₂ 排出量は減少しました。原単位は粉末製品が減り工程が少なくエネルギー消費が少ないリキッド製品の製造量が増加したため削減率が高くなりました。						
第三年度	排出量	2,909	t-CO ₂	生産数量	811.54	単位	t
	削減率	9.06	t-CO ₂	原単位	3.58	t-CO ₂ /	t
2022年度	調整後排出量	2,909	t-CO ₂	原単位削減率	-2.29	%	
	削減率	9.06	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	目標排出量削減率3%に対し、9.06%削減で達成となりました。しかし、原単位は目標削減率3%に対し削減率-2.29%で未達となりました。基準年度生産量914.3tに比べ811.54tと約11%減少したことにより、生産数量に関係なく消費されるエネルギーの比率が高くなり原単位が増加しました。 ※2021年度より生産数量の集計方法が変更となり、条件を合わせるため2019、2020年度を新集計値へ変更しました。そのため増減理由を修正しております。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	329999	老朽化ボイラーの更新	2020	2	2020	54
2	エネ起	320351	蒸気配管の断熱見直し	2020～ 2022	5	2022	5
3	エネ起	330251	熱搬送ポンプの適正運転化	2021	4	2020～ 2021	20
4	エネ起	330299	老朽化空調機の更新	2020～ 2021	1	2020	1
5	エネ起	360702	散気ブロワー適正運転化	2021	4	2022	4
6	エネ起	360702	ファンのインバーター化	2020～ 2021	6		
7	エネ起	360703	インバーターコンプレッサーの 導入	2022	5	2022	5
8	エネ起	380752	蛍光灯照明のLED化	2020～ 2022	1	2022	5
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電照明	W	0	0.1	32	140	140

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,199	0	0	1	2,922	1	2,909
1,500k1未満	0	0	1	2,757	0	0	0	0
合計	1	3,199	1	2,757	1	2,922	1	2,909

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合	100	100	100	100

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	徒歩、自転車通勤にも手当を支給 松本市ノーマイカーデー運動参加 マイカー通勤率 40%
自転車の利用促進	県外出張は近くの駅まで社有自転車又は徒歩で移動し電車を使用している。
来客者の交通対策	社内ポータルサイトにて電車での交通手段を掲載。 県外業者には極力電車での移動を依頼。
物流の合理化	なし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		1999年
	名称	ISO14001	
<input checked="" type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		2021年
<input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		2022年
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	牛乳パック・包装資材のリサイクル活動 2000年度～		2020年度～

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> ・ライトダウンキャンペーン参加 毎年 ・穴田川 清掃ボランティア参加 毎年 ・美ヶ原 笹狩りボランティア参加 毎年 ・松本市ごみゼロ運動参加 毎年 ・敷地内の緑地、樹木の整備 毎年 ・牛乳パック・包装資材のリサイクル活動 毎年 ・日本乳業協会の「全国一斉地域清掃活動にチャレンジ！」参加
